

公益財団法人サトー国際奨学財団 サトーAsia 留学生奨学制度 奨学生募集要項

2010年10月期生 (奨学支援期間:2010年10月～2012年9月)

2011年4月期生 (奨学支援期間:2011年4月～2013年3月)

公益財団法人サトー国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

募集期間: 2010年9月9日(木)～2010年9月15日(水)必着

※ただし、2011年4月入学新1年生に限り9月22日(水)まで受け付けます。

当財団では、2010年10月から奨学金を支給する10月期奨学生と、2011年4月から奨学金を支給する4月期奨学生を募集します。10月期奨学生の応募については、本募集要項中2011年4月現在の表記を2010年10月現在と読み替えてください。

奨学金支給期間は下記の通りです。(P3の支給期間を参照のこと)

①2010年10月期生：2010年10月から2012年9月までの2年間

②2011年4月期生：2011年4月から2013年3月までの2年間

別紙①「奨学生申込書」の奨学金受給期間の該當時期に必ず○をつけてください。

I. 応募資格 (2011年4月現在)

バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、文部科学省所轄大学の学部または大学院に在籍する当該国の国籍を有する私費留学生で下記の条件を満たす者(ただし、日本国籍を有する者、短大生及び研究生を除く。)

- ① 国際理解と親善に関心を持ち、交流会に出席できる者
(交流会は年6回開催)
- ② 名目の如何にかかわらず他の奨学支援団体等から奨学金に類する金品を受給していない者
(学習奨励金、研究助成金などを受給しているときは事前に事務局に問い合わせること。貸与奨学金については応募可)
- ③ 在留資格「留学:college student」を有する者
- ④ 日本で就業している親がいない者
- ⑤ 「博士」の学位を取得していない者
- ⑥ 現在在籍している課程の修学期間が2011年4月より1年以上ある者
(ただし大学院博士後期課程についてはこの限りでない)
- ⑦ 日本語でコミュニケーションがとれる者
- ⑧ 在学証明書のある者
ただし、新1年生については合格証明書又は合格通知書のある者

II. 奨学金

1. 支給額	学部学生	月額 120,000 円
	大学院生	月額 180,000 円 (この他に学会出席補助金制度あり)

2. 支給期間 ①2010年10月から2012年9月までの2年間
 ②2011年4月から2013年3月までの2年間
 ※ただし、採用時の課程に在籍する期間を限度とする。2年以内に採用時在籍課程を卒業
 又は修了した場合(学部から大学院、修士から博士へ進学など)は、その時点で支給終了と
 なる。(例:学部4年生、修士2年生の場合、支給期間は1年間となる。)
- *1 奨学生の認定を受けた時点で他の奨学金を受給していない者は、支給期間①または②のい
 ずれかより奨学金の受給を開始することができる(但し、受給開始時点より2年間)
 - *2 博士課程1年採用者(博士5年課程の場合は3年生、後期博士課程)について:
 博士課程2年時点で、指導教員の報告書をもとに選考委員による審査を行い、正規の課程期
 間内に博士号が取得できると見込まれる場合は、奨学金支給期間を1年間延長する
 - *3 再応募可

III. 募集人数

10名前後

IV. 募集期間

2010年9月9日(木)～2010年9月15日(水) 必着

※ただし、2011年4月入学新1年生に限り9月22日(水)まで受け付けます。

V. 応募書類

○:必須

応募書類	用紙	学部学生	大学院生	備考
1. 奨学生申込書	別紙①	○	○	日本語 自筆
2. 履歴書	別紙②	○	○	日本語 自筆
3. 指導教員推薦状 評価書	別紙③	○	○	ワープロ可 英語の場合は日本語訳を添付 ※指導教員により厳封のこと
4. エッセイ	別紙④	○	○	日本語 自筆 (所定用紙 A4 2枚)
5. 在学証明書		○	○	新入・編入の場合は「合格証明書」又は 「合格通知」
6. 学業成績書		○	○	資料 I 参照
7. 研究計画書	A4	—	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照 1枚
8. 研究要旨	A4	—	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照 1枚
9. 研究実績	A4	—	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照

- ・ 提出できない書類がある場合は、別紙⑤「未提出理由書」にその理由を記入し提出してください
 (未提出書類の提出期限は10月7日必着)。
- ・ 別紙②「履歴書1」の「国際交流・社会貢献活動の経験」「語学能力(日本語)」の欄は選考において重
 視します。
- ・ 代筆不可。ひらがな可。
- ・ 応募書類は返却いたしません。
- ・ 応募書類に虚偽の記載があった場合は、当該応募書類を無効とします。

VI. 応募方法

在籍する大学の留学生課に応募書類を提出してください。ただし、新1年生の場合は、現在在籍している大学の留学生課からの応募もできます。

【留学生課からの応募方法について】

応募書類を留学生課にて取りまとめ、下記を同封し、一括して財団事務局宛へご送付ください。
なお、1次選考までに提出ができない書類がある場合は、必ず別紙⑤「未提出理由書」を添付ください。

- I. 長形3号封筒（留学生課住所・担当者名を明記の上、80円切手貼付）……………2通
財団から留学生課へ受付番号等を一括送付する際に使用します。
- II. A4サイズ以外の応募書類（厳封書類除く）はA4サイズにコピーをして、原本に添付
両面コピー不可、ホチキス留め不可
- III. 厳封書類は、応募書類の一番上にクリップで添付
書類間に厳封書類を挟まないでください

応募書類送付先

〒153-0064

東京都目黒区下目黒1-7-1

公益財団法人サトー国際奨学財団 事務局

VII. 選考及び結果発表

1. 1次選考 書面選考

- ・ 1次選考の結果は、10月20日(水)までに、留学生課宛に郵送にて通知します。

2. 2次選考 面接は11月13日(土)または14日(日)に東京にて実施予定。

- ・ 1次選考結果通知後、該当する大学の留学生課宛に2次選考の要領を郵送します。
- ・ 2次選考の結果は、11月19日(金)に留学生課宛に郵送にて通知します。

※ 選考の結果は、1次選考(10月20日発表)、2次選考(11月19日発表)ともに、発表日の午前10時より財団のホームページに合格者の受付番号を掲載します(<http://www.sisf.or.jp>)。

郵送にて通知する「選考結果」と併せてご確認ください。

IX. 留意事項

奨学生が下記の各号のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがあります。

(「奨学生規則」を当財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)で事前に確認してください)

- ① 交流会を無断で欠席した場合
- ② 「生活報告書」を期限内に提出しなかった場合
- ③ 日本を年間 45 日以上離れた場合(研究目的の場合は 90 日まで)
- ④ 病気その他の理由により修学または研究を継続できない場合
- ⑤ 指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合
- ⑥ 学業成績が不良の場合
- ⑦ 休学・転学の場合(出産、育児による休学を除く)
- ⑧ 素行不良の場合
- ⑨ 財団の名誉を傷つける行為をした場合

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱われます。ただし下記の場合は、関係者に対して個人情報が開示されることがありますのでご了承ください。

- ① 選考のため、選考委員へ応募書類を開示する場合
- ② 重複支給の確認のため、大学担当者及び奨学団体に「合格者一覧」を提供する場合

サト一Asia 留学生奨学制度 奨学生申込書

財団使用欄
受付日: _____
番号: _____

奨学金受給期間	奨学金受給希望期間に○をつけてください ①2010年10月～2012年9月 ②2011年4月～2013年3月		写真添付(カラー) (3ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと) 5.0×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと
氏名	カタカナ	当財団奨学生経験:	
	パスポート記載の英文	性別:	
	母国語	年齢	
生年月日	19 年 月 日	歳	
E-mail Address	_____ @ _____		
電話番号	() - _____	国 籍: _____	
現住所	〒 _____	最寄り駅: _____ 線 駅	
2011年4月時点の在籍大学 又は 在籍大学院	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 大学院		(2011年4月時点の学年)
	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 研究科		<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士
	<input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 専攻		() 年
	指導教員名: _____		入学年月: 年 月
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(※上記大学以外の申請は申請学校名を明記): _____		日本在留年数(延べ) 年
	担当者名: _____		電話: () - _____
	住所: 〒 _____		FAX: () - _____
		研究実績(大学院生のみ): 有 ・ 無	

申込日 2010年 月 日

【受付番号票】 (大学名、氏名を記入のこと)

大学名 (2011年4月在籍大学)	氏名 (カタカナ)
大学	

サト一Asia留学生奨学制度奨学生申込書を _____ 番で受け付けました。

受付年月日 _____

履歴書-1

氏名(カタカナ):

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	卒業 ・中退	奨学金 受給有無
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・ 中退	有・無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業・ 中退	有・無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業・ 中退	有・無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業・ 中退	有・無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業・ 中退	有・無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業・ 中退	有・無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業・ 中退	有・無
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (2010年10月時点 在籍状況)				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資格・免許・受賞歴			語学能力 (日本語・英語等)					
奨学金および研究助成金等の受給実績 (奨学金および研究助成金等の名称・受給期間・受給月額)								
国際交流、社会貢献活動の経験 (サトー財団はこれらの経験を重視しているので具体的に書くこと)								

【記入の注意点】

- ・ 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)にて記入し、あわせて提出すること。
- ・ 日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること。

履歴書-2

氏名(カタカナ): _____

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	
	配偶者					
	子供					
	父					
	母					
	兄弟姉妹					
経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額	
		名称:	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
		名称:	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
		アルバイト、その他給与 (内容:)			月額	円
	配偶者の収入	勤務先 () 仕事の内容 ()			月額	円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額	
		名称:	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
		名称:	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
	住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 ()			月額	円
	授業料	<input type="checkbox"/> 全額免除	(年 月 ~ 年 月)	(免除額 円)	自己負担授業料 年額 円	
<input type="checkbox"/> 一部免除		(年 月 ~ 年 月)	(免除額 円)			
<input type="checkbox"/> 全額自己負担						
他財団との併願状況 (必ず記入してください)	財団名			結果発表月日		
				月	日	発表
				月	日	発表
			月	日	発表	

【記入の注意点】

- 家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること。

履歴書-1

記入例

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

学 歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	卒業 ・中退	奨学金 受給有無
	1	1998年4月から 2001年3月まで	〇〇 高校		タイ・バンコク市		卒業 中退	有・無
	2	2001年4月から 2003年3月まで	〇〇 大学	(学)修・博	タイ・バンコク市	工学	卒業 中退	有・無
	3	2005年4月から 2007年3月まで	〇〇 日本語学校	学・修・博	日本・東京		卒業 中退	有・無
	4	2007年4月から 2011年3月まで	〇〇 大学	(学)修・博	日本・東京	工学	卒業 中退	(有)無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無

職 歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (2010年10月時点 在籍状況)
	2003年4月から 2005年1月まで	株式会社〇〇	タイ・バンコク市	自動車の整備 在籍・休職・退職
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職

資格・免許・受賞歴	語学能力 (日本語・英語等)
普通自動車免許 〇〇主催△△コンテスト優勝 (2010年3月)	日本語検定一級 (2006年7月) TOEIC 840点 (2007年6月)

奨学金および研究助成金等の受給実績 (奨学金および研究助成金等の名称・受給期間・受給月額)

〇〇奨学金 2009年4月~2010年3月 月額 8万円	
〇〇奨学金 2010年4月~2011年3月 月額 10万円	

国際交流、社会貢献活動の経験 (サト一財団はこれらの経験を重視しているので具体的に書くこと)

奨学金および研究助成金等の受給実績を直近4つまで記入してください。

【記入の注意点】

- ・ 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)にて記入し、あわせて提出すること。
- ・ 日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること。

履歴書-2

記入例

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名
	配偶者 サトウ ミチコ	タイ	30	日本・東京	〇〇大学 修士1年
	子供 サトウ アイ	タイ	1	日本・東京	
	父 サトウ ハジメ	タイ	55	タイ・バンコク市	〇〇会社勤務
	母 サトウ ハナコ	タイ		死亡	
	兄弟姉妹 兄 サトウ シロウ	タイ	32	タイ・バンコク市	〇〇大学講師
	伯父 サトウ サブロウ	タイ	58	日本・大阪	〇〇会社勤務
経済状況	収入	仕送り	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		年額 円
		受給中の奨学金	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	受給期間	受給金額
		名称: 〇〇奨学財団	(2010年4月 ~ 2011年3月)		月額 100,000円
		名称:	(年 月 ~ 年 月)		月額 円
		アルバイト、その他給与 (内容: 新設配達)			月額 50,000円
	配偶者の収入	勤務先 (サトースーパー) 仕事の内容 (レジ)			月額 50,000円
		受給中の奨学金	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	受給期間	受給金額
		名称: 〇〇奨学財団	(2010年4月 ~ 2011年3月)		月額 100,000円
		名称:	(年 月 ~ 年 月)		月額 円
	住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 ()			月額 40,000円
授業料	<input type="checkbox"/> 全額免除	(年 月 ~ 年 月)	(免除額 円)	自己負担授業料 年額 300,000円	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部免除	(2010年4月 ~ 2011年3月)	(免除額500,000円)		
	<input type="checkbox"/> 全額自己負担				
他財団との併願状況 (必ず記入してください)	財団名			結果発表月日	
	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇奨学財団			10月 30日 発表	
	<input type="checkbox"/> 〇〇奨学財団			12月 20日 発表	
				月 日 発表	

【記入の注意点】

- 家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合

全額授業料が年間800,000円で、免除額が年額500,000円の場合の記入例

学業成績書の提出について

□ 下記項目の通りに成績書を提出すること

- ・ 下表に該当する期間の学業成績書を提出すること
- ・ 在籍校の学業成績書は 2010 年 6 月以降の発行日とし、直近の学業成績書のオリジナルを提出すること
- ・ 母国の学業成績書など取り寄せなければならない場合のみコピーでも可とする
※母国の学業成績書については必ず和訳または英訳を添付すること

在籍課程および経歴	学業成績書提出期間
学部生	高校1年生から直近まですべて(日本語学校含む)
大学院生	学部1年生から直近まですべて
高専・専門学校編入生 編入経験のある学生	編入生又は編入の経験のある学生は、学部・大学院生 問わず、高専・専門学校から直近まですべて

- 提出する学業成績書が、『別紙②履歴書 1:学歴欄』に記載されたどの期間に該当するかわかるように、下記の記入例を参考に学業成績書にNo.を記入して提出すること。

【記入例】『別紙②履歴書 1:学歴欄』に該当するNo.を左上に記載

No. 1

学業成績書

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

研究要旨及び研究実績の記載内容について

□ 研究計画書(応募書類 7)

- ・ 日本語 ワードプロ可 図表使用可。
- ・ 1,200 字以内、図表を含め A4 サイズ1枚にまとめること。規程枚数以上は不可とする。

□ 研究要旨(応募書類 8)

- ・ 専攻、研究テーマについて、一般の人にも分かるようにやさしく書くこと。
- ・ 日本語 ワードプロ可 図表使用可。
- ・ 1,200 字以内、図表を含め A4 サイズ1枚にまとめること。規程枚数以上は不可とする。
- ・ 修士1年の学生で実績が無い場合は、学部課程の卒論の内容でも可とする。

□ 研究実績(応募書類 9)

- ・ 日本語 ワードプロ可 A4 サイズ。
- ・ 何件書いてもよいが、下記3項目は必ず書くこと。

①公刊論文(レフリー付論文のみ)

著者/論文テーマ/誌名/巻/号/ページ/年

②学術発表(国内)

発表者/論文テーマ/学会名/開催場所/年月

③学術発表(海外)

発表者/論文テーマ/学会名/開催場所/年月

- ・ ②、③については、「個人」か「グループ」での論文(発表)かを明記すること。
- ・ 実績が無い場合は、「研究実績はありません」と明記した紙(A4 サイズ・名前明記)を添付すること。